

## 平成30年第6回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 松田 規久夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 都市計画税について	<p>固定資産税について田布施町の基本的姿勢は、町内は田舎の位置づけである。理由は固定資産評価基準に定めている宅地の評価方法に「その他の宅地評価法」のみを採用していることから判断できる。都市計画税についてはどうであろう。昭和の後半からの経済成長で、町の将来は税の名前が示す通り未来の市街化を展望した任意税の導入となっている。昭和の発展期から平成の安定期（停滞期）、次の期間は少子高齢化に伴いこのまま進めば衰退期となるであろう。昭和の時代、瀬戸内海工業地帯の周南エリアのベッドタウンとして発展した田布施町だが、将来の都市化は望めそうにないのが現状である。田布施町の税に対するスタンスは固定資産税においては田舎、都市計画税においては市街化を目指すダブルスタンダード（二重基準）であり相反する立場と言える。実現が望めそうにない都市化であれば、目的税の都市計画税は廃止すべきである。現在、税率は上限の0.3を適用しているが、一度にゼロにするのが困難であれば、段階的に0.2、次に0.1と下げてゼロにすべきと思う。田布施町が導入している使途に目的がある任意税の都市計画税に対する基本的な考えを聞く。</p>	町長
2. 固定資産税など税について	<p>毎年、日本各地で災害が発生し、防災に関して田布施町も各種被災を想定した対策が望まれる。山口県が指定した土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）について、住民からの申請が無くても固定資産税の減額処理がなされたと聞く。一方、土地の評価方法で土地の不整形、間口、奥行きを補正をしない理由は何か。不整形については過去に15件の減額がされている。申請すれば自分の所有している土地が減額の可能性があるなど、ほとんどの人は知らない。住民は行政を信頼している。税は公平・公正でなければならない。両者の扱いに差が見受けられるのはなぜか。また、平成6年から30年の24年間、間口、奥行きは検討中のため補正しないとされているが、検討した資料を示して欲しい。3年ごとの評価見直しも検討中として、検討中24年間は長すぎではないかと思える。地方税法上どうなのか。今後の対応を尋ねる。</p>	町長
3. 財政健全化と職員数について	<p>人口減による自主財源の減少と高齢化による社会保障費の増大が見込まれる。換言すれば、収入は減り、支出は増える。財政は毎年のように苦しくなっていく。この様な現状で、新町長はどのように田布施丸の舵取りをしていくのかを尋ねる。また、職員数について、総務省は2040年構想研究会の報告を受け、地方職員の半減を検討している。田布施町は40年までに実現可能か。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>1. 子ども・子育てについて</p>	<p>町長は、出馬表明の中で子育てに優しい町に取り組みたいと語られ、現在は小学校3年までとなっている医療費無償化を小学校6年まで拡大する。後々は中学校、高等学校も対象とするかなど検討したいと覚悟と決意をされていた。</p> <p>これまでも、18歳以下の医療費の無償化については、私を含め一般質問で度々取り上げられている。スピード感を持って対応してほしい。二元代表制を堅持し、議会としての役割を保ち応援したいと思う。</p> <p>結婚・出産・子育てに希望を持ち安心して産み育てていくことのできる田布施町にしたいとの思いで、議員においても「子ども・子育て条例の勉強会」をこれまで3回実施した。また、先進地の山口市に研修に行き、市議さんから子育てにおいて家庭環境や所得の格差により子育てに格差が起きてはならない。子どもには責任はないと熱く語られご指南をいただいた。</p> <p>今後、執行部と協力し力を合わせて、全ての子どもが健やかに育つことのできる地域社会の実現を目指したいと思う。そこで、新町長のご所見を尋ねる。</p>	<p>町長</p>
<p>2. 国民健康保険について</p>	<p>国民健康保険制度は、今年度から県と市町が共同で運営を担い、県が財政運営の責任主体となった。市町は、厳しい財政状況のなか、収納対策や医療費の適正化などを行う必要がある。本町の医療費はここ数年は低い数字で推移しており、平成29年度国保会計決算の繰越金が約1億1,900万円となっている。住民からも、「保険税は高くて払えない」との声が高まる中で、一般会計繰入による対応も必要と思われる。そこで、新町長に次の事を尋ねる。</p> <p>①県が示した標準保険料を参考に町が決定する来年度の保険税額はどのようなのか。</p> <p>②社会保障の観点から一般会計繰入等により、保険税を引き下げてはどうか。</p> <p>③収納対策や医療費の適正化対策について、町として今後どのように取り組むのか。</p>	<p>町長</p>
<p>3. 「ふるさと詩情公園」隣接の河川敷道路の舗装について</p>	<p>役場西側の「ふるさと詩情公園」隣接の田布施川の定井手橋から田布施・平生水道企業団までの河川敷道路は、地域の通勤や買物としての生活道路として、また町民の散歩道として利用されているが長年未舗装である。徒歩や自動車での通行において、雨天時には水たまりができ泥沼化し、晴天時には埃が舞い利用者は困っている。</p> <p>また、「ふるさと詩情公園」の有効活用については、「田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の地域資源を活用したまちづくりの中に位置づけられており、テーマに沿った多種多様なイベントの開催を企画するとある。平成28年度からは「たぶせ桜まつり」がこの場所で開催され、広島都市圏での連携イベントとして「見ぬ友と心を結ぶ・のろしりレー」も毎年開催されている。</p> <p>こうしたことで、この河川敷道路の舗装整備を行い「ふるさと詩情公園」と一体的な環境整備をされ町民の利便性の向上を図られてはどうか尋ねる。</p>	<p>町長</p>

質問者3 河内 賀寿

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 長信前町長からの引継ぎでこれはぜひと頼まれたことなどないか	<p>11月14日、長信町長は退任され翌日から、東新町長の町政がスタートした。</p> <p>副町長時代から、前町長とは、二人三脚でがんばってこられたので、お互いの気持ちは通じ合っておられたと思う。</p> <p>そこで、新しく何か取組むことはあるか。これはぜひと、引継ぎで頼まれたことなどあれば、お聞かせ願う。</p>	町長
2. 小学校のエアコン設置は夏までに間に合うか	<p>この夏の異常な猛暑により、学校のエアコン設置に関して、国の補助案が決定した。</p> <p>本町も、リース案で小学校に設置予定とのことだ。</p> <p>しかし、日本全国一斉整備が始まれば、資材不足などが起こると思う。</p> <p>本格的な夏の暑さが来るまでに、4校全てに設置完了することはできそうか。</p> <p>現在、業者と話し合われていると思うが、具体的な見通しの話になっていればお聞かせ願う。</p>	町長

質問者4 西本 篤史

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 環境対策は万全か!	<p>9月に、柳井保健所管内 快適環境づくり連絡協議会総会が行われた。講演「ミツバチと環境保全」があり、農薬「ネオニコチノイド系」の被害状況が報告された。ネオニコチノイドはニコチンを改良した農薬で昆虫の神経を狂わせて殺す作用がある。農地だけでなく園芸、シロアリ駆除ペットのノミ取りなどにも使用されている。水に溶け作物に吸収されて殺虫効果が長期間残るため益虫や人体への悪影響を指摘されている。現に農薬の使用量に比例して子どもの自閉症、発達障害の増加を「環境脳神経科学情報センター」が指摘している。岐阜県の河川、地下水の水質調査では6月、9月に高濃度で検出されている。町内においても稲作防除後にミツバチが大量死した所もある。町も農薬の危険性の啓発。河川、地下水の水質調査。使用量の制限(町の河川条例改正)。を行ってはどうか。</p>	町長
2. ICTを利用した英語教育について	<p>先日、総務文教委員会で九州上峰町のICTを活用した英語教育を視察した。上峰町は平成27年から5,6年生を対象に行っている。ALT(外国語指導助手)との授業の会話は1人1分程度であるが、ICTはマンツーマンの会話で1人15分の発話量が確保出来たそう。授業は45分で担任、講師の説明の後、フィリピンとのオンライン英会話を15分行う。(今年度よりALTは参加しない)児童はすぐ慣れ親しんで外国人と会話を楽しんだ。また、学習に意欲が出て、他の科目の成績も県の平均以上となった。初期費用、委託料も掛かるが、各小学校のパソコンやシステムも工夫をすれば可能であると思うが導入してはどうか。</p>	教育長

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略について	<p>平成27年10月の田布施町まち・ひと・しごと総合戦略によれば河川公園においてワークショップの開催・実施等が掲げられている。そこでお尋ねする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実施、企画、主催はどこが行うのか。</li> <li>2. 具体的な実施場所は。</li> <li>3. 実施時期は。</li> <li>4. 何をするのか。 9月議会の配布資料にもイベント等を行うと明記されているが具体的なアクションは起こしているのか。</li> <li>5. 例えば光市の冠山公園や新南陽市の永源山公園にはコンクリート製の屋根のある野外ステージが設置されているが田布施町でも野外イベントのために設置を検討しないのか。</li> </ol>	町長
2. 需用費等の経費の削減について	<p>本町の平成29年度決算の需用費は一般会計 144,406,146 円、特別会計 10,923,794 円で委託料は一般会計 593,266,798 円、特別会計 117,101,319 円と高額である。先日の佐賀県宇城市の出張で聞いたのだが、市では電力入札を実施して電力会社を九州電力から関西電力に変更し、年間3千万円もの予算軽減に成功したそうだ。田布施町では今後どのような方法で経緯削減に取り組むのか。</p> <p>現在、業者の選定方法や見積もりや支出金額に対するチェック機能はどのようなになっているかお尋ねする。</p> <p>平成29年度の田布施町観光パンフレット作成事業について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 金額 1,499,904 円 (5,000 冊作成) について、支払金額の明細・内訳は。</li> <li>2. 事前に複数業者からの相見積もりは取ったのか。</li> <li>3. 業務委託契約をされているか</li> <li>4. 業者の選定方法と決済者は誰か。</li> <li>5. 内容や価格は適正であるかどうかの判断やチェックは行ったのか。</li> </ol>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 麻里府地区の将来像について	<p>今、12月議会は、11月15日に東新町長が就任して以来、初めての議会となります。</p> <p>東町長は、町職員からの出馬ということから、今秋、経済厚生委員会で研修視察に行きました鳥取県日南町の同じく町職員出身の「コンパクト・ヴィレッジ」を推し進めていた故増原町長とダブります。東町長も同じように行政経験が長く、田布施町に精通しているだけに、彼のように周辺地区も含めた大胆なまちづくりを進めてくれるのではないかと期待しています。</p> <p>また、同じく島根県の飯南町にも研修視察に行きましたが、ここでは「人の循環」を図るために28・29年には50名余りの移住者を迎えており、少子高齢化が進む田布施町でも、とりわけ麻里府地区で、そういった面での取り組みしていただきたいと思っています。</p>	町長

	<p>私は「人と自然が循環するまちづくり」を田布施に移住して以来一貫して追求してきました。麻里府地区から多くの支援を受けてこの場に立っていますので、まずは「麻里府の将来像」について何点か質問します。</p> <p>①のんびらんど・うましまの施設の改修や運営を含めて今後どうするのか。</p> <p>②耐震性のない旧麻里布小の校舎を今後どうするのか。</p> <p>③避難所として機能し、他の施設を含む複合施設としても機能する公民館の移転の準備をいつから始めるのか。</p> <p>④高潮対策の堤防建設と併せて漁港と国道を結ぶ広い道路を建設できないか。</p> <p>⑤国道 188 号線の戎ヶ下へ抜ける歩道の拡張はできないか。</p> <p>⑥少子高齢化が進む麻里府地区に移住者の受け皿づくりの拠点化ができないか。</p> <p>⑦買物バスと通学バスを併用したりして町営バスの有効活用や、もっと利用料金を安くしたり、ボランティアによる移送サービスはできないか。</p>	
<p>2. 携帯電話（スマホ）と学力について</p>	<p>「スマホが学力を破壊する」との新書本が多くの教育関係者や保護者に衝撃を与えているようです。</p> <p>「スマホを4時間以上使うと2時間の学習効果が消える」「自宅学習の減少や睡眠不足が成績低下の原因ではない」と書いてあります。しかも、7万人の子どもたちを対象に、数年間にわたって行われた大規模調査の結果を基に書かれたものだけに説得力があります。</p> <p>田布施町ではいち早くそのことに注目し、田布施中学校で研究したのが4年前と聞いています。その年の12月議会では西本議員が「スマホの使用と学力関係」について質問し、教育長からは「携帯・スマホの使用時間と学力に相関関係が非常にある」との答弁を引き出しています。</p> <p>それから4年が経過し、携帯電話（スマホ）の使用率は高くなっていますが、その後の取り組みにはどうなっているのか、保護者への啓発や家庭でのルール作り、情報教育と一体となった児童生徒への教育、…等、それらを踏まえて、何点か質問したい。</p> <p>①携帯電話（スマホ）などの情報機器の利用に関し、親子で同意の上、利用する時間・場所、アプリに関するルールを作っている割合はいくらか。（小6、中3対象）</p> <p>②ノーメディア・ウィークは年何回行われ、保護者の反応はどうか。</p> <p>③ネット社会のルールやマナーをテーマとして開発された学習キットを利用した情報モラル教育はその後、継続的に行われているか。また、その効果はどうか。</p> <p>④コミュニティースクール（コムスク）の中で、地域・保護者一体となって携帯電話（スマホ）の弊害についての発信はできているか。</p>	<p>教育長</p>